



平成22年7月23日

各 位

会 社 名 アイ・ケイ・ケイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 金子 和斗志
(コード番号：2198)
問合せ先：取締役管理本部長 登田 朗
T E L : 0 5 0 - 3 5 3 9 - 1 1 2 2

大阪証券取引所 J A S D A Q 市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成22年7月23日に大阪証券取引所 J A S D A Q 市場に上場いたしました。今後とも、
なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

以 上



平成22年10月期 第2四半期決算短信

平成22年7月23日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイ株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 2198

URL <http://www.ikk-grp.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 和斗志

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 登田 朗 TEL (050) 3539-1122

四半期報告書提出予定日 _____

配当支払開始予定日 _____ (百万円未満切捨て)

1. 平成22年10月期第2四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第2四半期	5,990	—	880	—	842	—	483	—
21年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第2四半期	146.60	—
21年10月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、第2四半期の業績開示を当連結会計年度よりおこなっているため、21年10月期第2四半期の数値の記載および前年同四半期との対比はおこなっておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第2四半期	12,695	4,168	32.8	1,263.45
21年10月期	12,353	3,685	29.8	111,684.64

(参考) 自己資本 22年10月期第2四半期 4,168百万円 21年10月期 3,685百万円

(注) 平成21年10月期の1株当たり純資産につきましては、平成22年1月28日付の株式分割を考慮しておりません。詳しくは、3ページ「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年10月期	—	0.00			
22年10月期 (予想)			—	23.50	23.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,940	17.7	1,651	88.5	1,525	89.2	873	125.5	254.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|------------|--------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年10月期第2四半期 | 3,299,500株 | 21年10月期 | 32,995株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年10月期第2四半期 | －株 | 21年10月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年10月期第2四半期 | 3,299,500株 | 21年10月期第2四半期 | 32,995株 |
- (注) 平成22年1月28日付で普通株式1株につき100株の株式分割をおこなっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正

当社は、平成22年1月28日付で普通株式1株につき100株の株式分割をおこなっております。当該株式分割が前期首におこなわれたと仮定した場合における平成21年10月期の1株当たり純資産は以下のとおりであります。

	1株当たり純資産
	円 銭
21年10月期	1,116.85

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気刺激策や輸出の回復などから一部の企業に持ち直しなどもみられましたが、国内の企業収益は依然低水準で推移しており、それに伴う雇用情勢の悪化や個人消費の低迷により引き続き厳しい状況が続いております。

ウェディング業界におきましては、ゲストハウス・ウェディングの需要が好調に推移している一方で、専門式場やホテルのリニューアル、価格競争の激化など、業界における競合状況は一段と厳しさが増しております。

こうした状況のもと、当社グループは社内外での研修を通じた営業力の強化やサービスの質の向上、営業施策の見直しと改善、自社開発の営業支援システムの運用による業績管理の強化等に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,990百万円、営業利益は880百万円、経常利益は842百万円、四半期純利益は483百万円となりました。

なお、事業部門別の業績は次のとおりであります。

(1) 婚礼事業

婚礼事業では、前連結会計年度にオープンした「ララシャンスイワキ」（いわき支店）、「ララシャンスイワキ」(高知支店) および「ララシャンスベルアミー」（福井支店）の稼動に加え、既存店が順調に推移したことにより、売上高は5,823百万円、営業利益は867百万円となりました。

(2) その他事業

葬儀事業では、売上高は166百万円、営業利益は12百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ342百万円増加し、12,695百万円となりました。これは主に、現金及び預金が606百万円増加し、減価償却等により有形固定資産が273百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ141百万円減少し、8,527百万円となりました。これは主に、前連結会計年度末に計上していた福井支店の出店に伴う未払金の支払い等により、その他に含めた未払金が530百万円減少した他、有利子負債が98百万円減少し、未払法人税等が326百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ483百万円増加し、4,168百万円となりました。これは四半期純利益483百万円によるものであります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.0ポイント上昇し32.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ606百万円増加し、2,497百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1,329百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四

半期純利益836百万円、減価償却費437百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額87百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は623百万円となりました。これは主に、前連結会計年度にオープンした「ララシャンスベルアミー」（福井支店）の有形固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は98百万円となりました。これは、同じく「ララシャンスベルアミー」（福井支店）の有形固定資産の取得のための長期借入れによる収入464百万円および長期借入金の返済による支出528百万円、社債の償還による支出35百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月期の連結業績予想につきましては、平成22年6月17日公表の連結業績予想から修正をおこなっておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,497,239	1,890,540
売掛金	191,753	179,052
商品	98,599	93,090
原材料及び貯蔵品	105,435	86,474
その他	190,025	278,451
貸倒引当金	△6,593	△6,476
流動資産合計	3,076,458	2,521,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,030,552	7,295,893
土地	1,578,983	1,559,153
その他(純額)	390,853	418,652
有形固定資産合計	9,000,389	9,273,699
無形固定資産	92,486	91,859
投資その他の資産	526,597	467,185
固定資産合計	9,619,473	9,832,744
資産合計	12,695,932	12,353,876

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	542,217	565,578
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	1,089,258	997,370
未払法人税等	411,474	84,828
賞与引当金	141,854	137,420
その他	997,460	1,368,423
流動負債合計	3,252,264	3,223,620
固定負債		
社債	185,000	220,000
長期借入金	4,616,935	4,772,785
退職給付引当金	56,555	52,698
役員退職慰労引当金	184,679	174,352
ポイント引当金	41,300	38,007
負ののれん	1,716	2,575
その他	188,743	184,802
固定負債合計	5,274,929	5,445,220
負債合計	8,527,194	8,668,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	92,896	92,896
資本剰余金	96,552	96,552
利益剰余金	3,979,290	3,495,586
株主資本合計	4,168,738	3,685,034
純資産合計	4,168,738	3,685,034
負債純資産合計	12,695,932	12,353,876

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)
売上高	5,990,206
売上原価	2,669,244
売上総利益	3,320,961
販売費及び一般管理費	2,440,681
営業利益	880,280
営業外収益	
受取利息	390
還付加算金	2,886
祝金受取額	3,220
負ののれん償却額	858
その他	3,409
営業外収益合計	10,764
営業外費用	
支払利息	41,483
その他	6,818
営業外費用合計	48,302
経常利益	842,742
特別利益	
貸倒引当金戻入額	12
特別利益合計	12
特別損失	
固定資産除却損	6,386
特別損失合計	6,386
税金等調整前四半期純利益	836,368
法人税、住民税及び事業税	411,552
法人税等調整額	△58,888
法人税等合計	352,664
四半期純利益	483,703

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	836,368
減価償却費	437,193
負ののれん償却額	△858
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△242
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,434
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,856
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,327
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,293
固定資産除却損	6,386
受取利息	△390
支払利息	41,483
シンジケートローン手数料	573
売上債権の増減額(△は増加)	△10,798
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,469
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,361
その他	172,895
小計	1,456,690
利息の受取額	390
利息の支払額	△42,563
シンジケートローン手数料の支払額	△201
法人税等の還付額	2,257
法人税等の支払額	△87,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△585,580
無形固定資産の取得による支出	△9,324
その他	△28,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△623,748
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	464,100
長期借入金の返済による支出	△528,062
社債の償還による支出	△35,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,962
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	606,698
現金及び現金同等物の期首残高	1,890,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,497,239

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「婚礼事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。